



令和7年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年2月14日

上場会社名 KLASS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6233 URL <https://www.klass-corp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年9月期第1四半期の連結業績（令和6年10月1日～令和6年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年9月期第1四半期	2,146	△2.5	17	—	5	—	2	—
6年9月期第1四半期	2,201	1.7	△33	—	△37	—	△35	—

(注) 包括利益 7年9月期第1四半期 8百万円 (—%) 6年9月期第1四半期 △31百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年9月期第1四半期	0.55	—
6年9月期第1四半期	△6.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年9月期第1四半期	9,903	2,887	29.2
6年9月期	10,124	2,933	29.0

(参考) 自己資本 7年9月期第1四半期 2,887百万円 6年9月期 2,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
7年9月期	—	—	—	—	—
7年9月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和7年9月期の連結業績予想（令和6年10月1日～令和7年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	7.3	300	160.3	295	163.3	175	129.4	32.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年9月期1Q	5,391,000株	6年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	7年9月期1Q	77株	6年9月期	77株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	7年9月期1Q	5,390,923株	6年9月期1Q	5,390,923株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、大企業の設備投資や個人消費の堅調な推移、好調なインバウンド需要等により、景気は緩やかな回復基調を続けましたが、当社の主たるマーケットである住宅関連市場は、中古市場等の一部を除き引き続き低水準で推移しました。また、為替変動の影響による原材料・商品価格の高騰や、エネルギー価格上昇への懸念等、不安定な状況が依然として継続しております。

そうした経営環境の中、当社におきましては、プロフェッショナルセグメントとコンシューマセグメントが、前年同期を上回るスタートを切ることができましたが、当第1四半期連結累計期間の受注残と出荷予定案件が少なかったインダストリーセグメントは前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,146百万円（前年同期比2.5%減）と前年同期を下回りましたが、損益面は、営業利益17百万円（前年同四半期は営業損失33百万円）、経常利益5百万円（前年同四半期は経常損失37百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、前期から引き合いのあった大手壁紙メーカーの物流倉庫向け壁紙検尺機が予定通りに納入開始となり売上に貢献したほか、自動壁紙糊付機も買い換え需要が回復しはじめ、施工工具・副資材等は回復途上であるものの売上高は前年同四半期を7%程度上回りました。また損益面も、前年同四半期の商号変更費用等の一時費用の発生が無く、順調な推移となりました。昼事業は、当社が強みとする昼店への構造改革提案営業（当社の昼製造機械を活用した経営と生産の近代化の提案）や、昼店向けの工具等のネット販売により売上拡大を図りましたが、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）及び「事業再構築補助金」（中小企業庁）の採択が一巡したことに伴う昼店の投資意欲の減退の影響は依然として大きく、売上高・損益ともに低調なスタートとなりました。当期から設置したソリューション&ネットワーク事業は、見積・請求管理クラウドツールの契約者増、内装店・昼店向けのデジタルプリンターの販売等を中心に事業の拡大を図っておりますが、契約先の確保等が未だ途上であって、事業運営に必要な規模には至らず、当第1四半期連結累計期間は売上・損益ともに低調に推移しました。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は1,651百万円（前年同期比4.9%増）、営業損失10百万円（前年同四半期は営業損失68百万円）となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、需要が回復した棺用畳が、生産の国内シフトに伴う利益率アップと相まって好調に推移しましたが、前期好調であったフィットネスクラブ向け防音・防振床材等は、資材の使用量が少ない路面店型の小規模店が増加した影響で売上がやや停滞し、住宅向けの畳替え需要は依然として回復の途上です。一方、ソーラー・エネルギー事業と、兵庫県佐用町に設置しているメガソーラー発電所「三日月サンシャインパーク」をはじめとする売電事業は、順調に進捗しました。その結果、コンシューマセグメントの売上高は211百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益9百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業は、対象とする企業向け設備投資マーケットの拡大が続いており、従来からの二次電池製造装置に加え各方面からの引き合いも活発ですが、当第1四半期連結累計期間は受注残並びに出荷予定件数が少なく、前年同期に比較して売上高は減少しました。食品機器事業も、大手飲食チェーンからのマルチディスペンサーの引き合いが回復しておりますが、当第1四半期連結累計期間は出荷件数が少なく、前年同期に比較して売上は減少しました。その結果、インダストリーセグメントの売上高は162百万円（前年同期比47.6%減）、営業利益6百万円（前年同期比80.3%減）となりました。

④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。当第1四半期連結累計期間では、前期に続いて自動車関連業界の顧客からの大型機や消耗品の受注が順調に推移しております。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は120百万円（前年同期比0.2%減）となり、営業利益11百万円（前年同期比102.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ220百万円減少し、9,903百万円となりました。資産のうち、流動資産は、棚卸資産が230百万円増加しましたが、現金及び預金が208百万円減少、売上債権が259百万円減少したこと等により、215百万円の減少となりました。固定資産につきましては、投資その他の資産が16百万円増加しましたが、有形固定資産が18百万円減少、無形固定資産が4百万円減少したことにより、5百万円の減少となりました。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ174百万円減少し、7,016百万円となりました。負債のうち、流動負債は、賞与引当金が110百万円減少、支払手形及び買掛金が16百万円減少、電子記録債務が15百万円減少したこと等により、139百万円の減少となりました。固定負債につきましては、その他（リース債務）が11百万円増加しましたが、長期借入金が60百万円減少したこと等により、35百万円の減少となりました。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、2,887百万円となりました。これは、主に利益剰余金が50百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和6年11月15日の「令和6年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,475,557	1,267,170
受取手形、売掛金及び契約資産	1,452,787	1,277,817
電子記録債権	1,153,986	1,069,836
商品及び製品	887,935	952,833
仕掛品	158,350	251,337
原材料及び貯蔵品	327,457	400,255
その他	204,850	226,513
貸倒引当金	△591	△547
流動資産合計	5,660,335	5,445,216
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,712,954	1,693,720
土地	1,413,808	1,413,808
その他(純額)	571,136	572,357
有形固定資産合計	3,697,898	3,679,886
無形固定資産		
その他	57,935	53,554
無形固定資産合計	57,935	53,554
投資その他の資産		
その他	708,218	725,052
投資その他の資産合計	708,218	725,052
固定資産合計	4,464,053	4,458,493
資産合計	10,124,388	9,903,710
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	694,722	678,087
電子記録債務	983,230	967,430
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	258,938	256,658
未払法人税等	15,136	45
製品保証引当金	12,218	21,787
賞与引当金	152,771	42,190
役員賞与引当金	6,500	1,000
その他	420,178	436,857
流動負債合計	4,443,696	4,304,056
固定負債		
長期借入金	1,951,669	1,890,854
役員退職慰労引当金	300,000	307,000
退職給付に係る負債	462,770	469,873
その他	32,912	44,475
固定負債合計	2,747,351	2,712,204
負債合計	7,191,048	7,016,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,840,105	1,789,146
自己株式	△49	△49
株主資本合計	2,952,232	2,901,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,894	20,916
退職給付に係る調整累計額	△36,787	△34,738
その他の包括利益累計額合計	△18,892	△13,822
純資産合計	2,933,339	2,887,449
負債純資産合計	10,124,388	9,903,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	2,201,641	2,146,026
売上原価	1,528,655	1,463,039
売上総利益	672,986	682,987
販売費及び一般管理費	706,361	665,620
営業利益又は営業損失(△)	△33,375	17,366
営業外収益		
受取利息	77	112
受取配当金	212	219
受取保険金	1,851	449
補助金収入	486	725
スクラップ売却益	1,018	211
その他	1,331	937
営業外収益合計	4,978	2,655
営業外費用		
支払利息	6,470	9,036
支払手数料	1,104	1,104
為替差損	1,274	3,194
その他	617	820
営業外費用合計	9,466	14,155
経常利益又は経常損失(△)	△37,863	5,866
特別損失		
固定資産除却損	3,214	—
特別損失合計	3,214	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△41,077	5,866
法人税、住民税及び事業税	3,404	2,833
法人税等調整額	△8,775	83
法人税等合計	△5,370	2,917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,707	2,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,707	2,949

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,707	2,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,268	3,021
退職給付に係る調整額	1,476	2,048
その他の包括利益合計	3,744	5,069
四半期包括利益	△31,962	8,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,962	8,019
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	60,747千円	44,214千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	417,988	127,685	299,522	63,504	908,700
商品	1,136,202	56,866	4,593	43,260	1,240,921
その他	19,362	12,088	6,684	13,883	52,018
顧客との契約から生じる収益	1,573,552	196,640	310,800	120,648	2,201,641
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,573,552	196,640	310,800	120,648	2,201,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	55	—	55
計	1,573,552	196,640	310,855	120,648	2,201,696
セグメント利益又は損失(△)	△68,499	△1,874	31,155	5,843	△33,375

(注)セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	477,826	146,423	151,428	71,984	847,662
商品	1,156,882	54,124	2,279	41,282	1,254,568
その他	16,577	10,843	9,276	7,097	43,795
顧客との契約から生じる収益	1,651,286	211,392	162,983	120,363	2,146,026
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,651,286	211,392	162,983	120,363	2,146,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,651,286	211,392	162,983	120,363	2,146,026
セグメント利益又は損失(△)	△10,089	9,519	6,122	11,814	17,366

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	17,366
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	17,366